

国際かんがい排水委員会 (ICID)
第 9 回アジア地域会議及び
第 75 回国際執行理事会の結果報告について
(案)

令和 7 年 1 月 21 日

農林水産省農村振興局

目 次

【報告事項】

ICID第9回アジア地域会議及び第75回国際執行理事会(IEC)の結果報告について……	1
---	---

(参 考)

国際かんがい排水委員会(ICID)の概要……………	8
ICID日本国内委員会について……………	10
世界かんがい施設遺産の登録済み施設(2014年～2024年)……………	11

ICID第9回アジア地域会議及び第75回国際執行理事会(IEC)の結果報告について

1. 日程、参加者

- 第9回アジア地域会議及び第75回IECは、2024年9月1日～7日にオーストラリア・シドニーで開催。
- 日本国内委員会から渡邊委員長ほか12名の委員及び事務局が参加。

2. 第9回アジア地域会議の概要

- 第9回アジア地域会議は、9月1日から4日まで、「予測不可能性が増す気候の中で、経済的に実行可能な食料安全保障と持続可能な都市空間を実現するための灌漑の役割」をテーマに開催され、世界から各国国内委員、若手技術者及び関係国際機関が参加。併せて、かんがいに関連する協賛会社による展示会が行われた。
- 会議では、アジア地域の気候変動等の課題に関する国際ワークショップや、投資、ガバナンス、能力開発をテーマとしたセッションが開催された。この中で、気候変動下における持続可能な水管理(予測・評価手法等)、水管理の近代化(費用対効果、農家ニーズ把握等)、環境保全(在来種の保護)、水管理における女性の参加等に関して、オーストラリアをはじめ、各国から事例発表等が行われた。
- 「持続可能な都市空間の実現」をテーマとしたセッションでは、オーストラリアの3団体から、スマート認証を受けた水効率の高い技術による住宅の水使用量削減、競技場や住宅庭園での効率的なかんがい事例の紹介等が行われた。



アジア地域会議 開会式参加者



国際ワークショップの様子



展示会

3. 第75回国際執行理事会の概要

- 日本国内委員会委員は、22の所属する委員会・作業部会等に出席し、情報収集を行うとともに、各委員の知見と経験を活かした貢献と情報発信を行った。
- 次年度予算や副会長3名等の役員の承認、世界かんがい施設遺産の認定等の表彰、今後の国際執行理事会開催予定の確認等が行われた。
- 日本国内委員から、作業部会の執行部に4名（議長2名、副議長1名、書記1名）が任命または推薦された。また、渡邊委員長がICID副会長の3年間の任期満了を迎えた。



4. 国内委員等関係者の発表内容

- 国内委員及びかんがい排水関係の研究に携わる若手技術者が、国際ワークショップ等で水田の効率的な水管理や防災機能等に関する日本の知見を発表。

【国内委員、事務局】

- 渡邊 紹裕 委員長(京都大学名誉教授)
 - ・アジア地域部会で発刊したレポート紹介
- 奥田 透 副委員長(全国農村振興技術連盟委員長)
 - ・アジアの食料安全保障のためのかんがい排水に関する技術レポート(日本の事例研究)
- 加藤 亮 委員(東京農工大学大学院連合農学研究科教授)
 - ・ラオス人民民主共和国における水田関連生態系サービスに対する都市化の影響
 - ・インドネシアの気候変動下における将来の水供給量と乾季の季節パターンの分析
 - ・水環境保全と水利用効率向上のための水田循環灌漑システムー日本の事例ー
- 鷲野 健二 事務局長(農林水産省農村振興局設計課海外土地改良技術室長)
 - ・第10回世界水フォーラムにおける日本の活動報告

【若手技術者】

- 大倉 芙美(国際農林水産業研究センター任期付研究員)
 - ・循環灌漑における水収支と水質の総合的な分析
- 大塚 健太郎(岐阜大学大学院連合農学研究科修士課程)
 - ・気候変動と都市化の進展に伴うかんがい排水施設の水管理の変化 ～木津用水の事例～
- 小田 広希(東京大学大学院新領域創生科学研究科博士後期課程)
 - ・将来気候がタイ東北部の雨期米作付日に与える影響
- 金子 貴信(新潟大学大学院自然科学研究科修士課程)
 - ・途上国における機械学習による洪水予測

4. 国内委員等関係者の発表内容



渡邊委員長(アジア地域会議開会式)「アジア地域部会で発刊したレポート紹介」



加藤委員(気候変動国際WS)「インドネシアの気候変動下における将来の水供給量と乾季の季節パターンの分析」



小田氏(気候変動国際WS)「将来気候がタイ東北部の雨期米作付日に与える影響」と司会する松野委員



青山局次長(アジア地域部会WS)「開会挨拶」



奥田副委員長(アジア地域部会WS)「アジアの食料安全保障のためのかんがい排水に関する技術レポート」



鷺野室長(TF-WWF10)「第10回世界水フォーラムにおける日本の活動報告」

5. 副会長選の結果

- 本年度で任期満了を迎える副会長（3名）の後任を決める選挙が行われ、
（1）モロッコ、（2）マレーシア、（3）タジキスタン、の序列で新副会長が選出された。

会長（任期2023～2026）

氏名	国名
Dr. Marco Arcieri	イタリア

現副会長

	氏名	国名	任期
1	Dr. Tsugihiko Watanabe	日本	2021-2024
2	Mr. Aziz Fertahi	モロッコ	2021-2024
3	Mr. Ali Reza Salamat	イラン	2021-2024
4	Mr. Bruno Grawitz	フランス	2022-2025
5	Prof. Sylvester Mpandeli	南アフリカ	2022-2025
6	Mr. Kushvinder Vohra	インド	2022-2025
7	Dr. Tian Fuqiang	中国	2023-2026
8	Dr. Vadim Sokolov	ウズベキスタン	2023-2026
9	Dr. Watchara Suiadee	タイ	2023-2026



継続

新副会長（任期2024～2027）

序列	氏名	国名
1	Mr. Mohd. Bouaam	モロッコ
2	Dato' Ir Mohd. Azmi Bin Ismail	マレーシア
3	Dr. Bahrom Gaforzoda	タジキスタン

改選後の地域別副会長数

- アジア・オセアニア地域 6
- アフリカ地域 2
- ヨーロッパ地域 1

6. 世界かんがい施設遺産の登録

- 日本から申請した3施設(南原穴堰、龍ヶ池揚水機場、西光寺野疎水路)のほか、15施設(中国4、インド4、イラン4、イラク1、南アフリカ1、トルコ1)が世界かんがい施設遺産として登録された。
- 登録施設の関係者として、伊藤大崎市長、伊藤豊郷町長ほか、現地で盾と認定証を受領した。
- 世界の登録数は20カ国177施設、日本の登録数は世界最大の54施設となった。

【日本から新たに登録された3施設】



国名	登録数
日本	54
中国	38
インド	22
スリランカ	12
イラン	10
韓国	8
イラク	6
イタリア	4
タイ	4
豪州	3
インドネシア	3
エジプト	2
メキシコ	2
アメリカ	2
トルコ	2
南アフリカ	1
マレーシア	1
モロッコ	1
パキスタン	1
ロシア	1
合計	177

6. 世界かんがい施設遺産の登録

令和6年9月7日 中日新聞



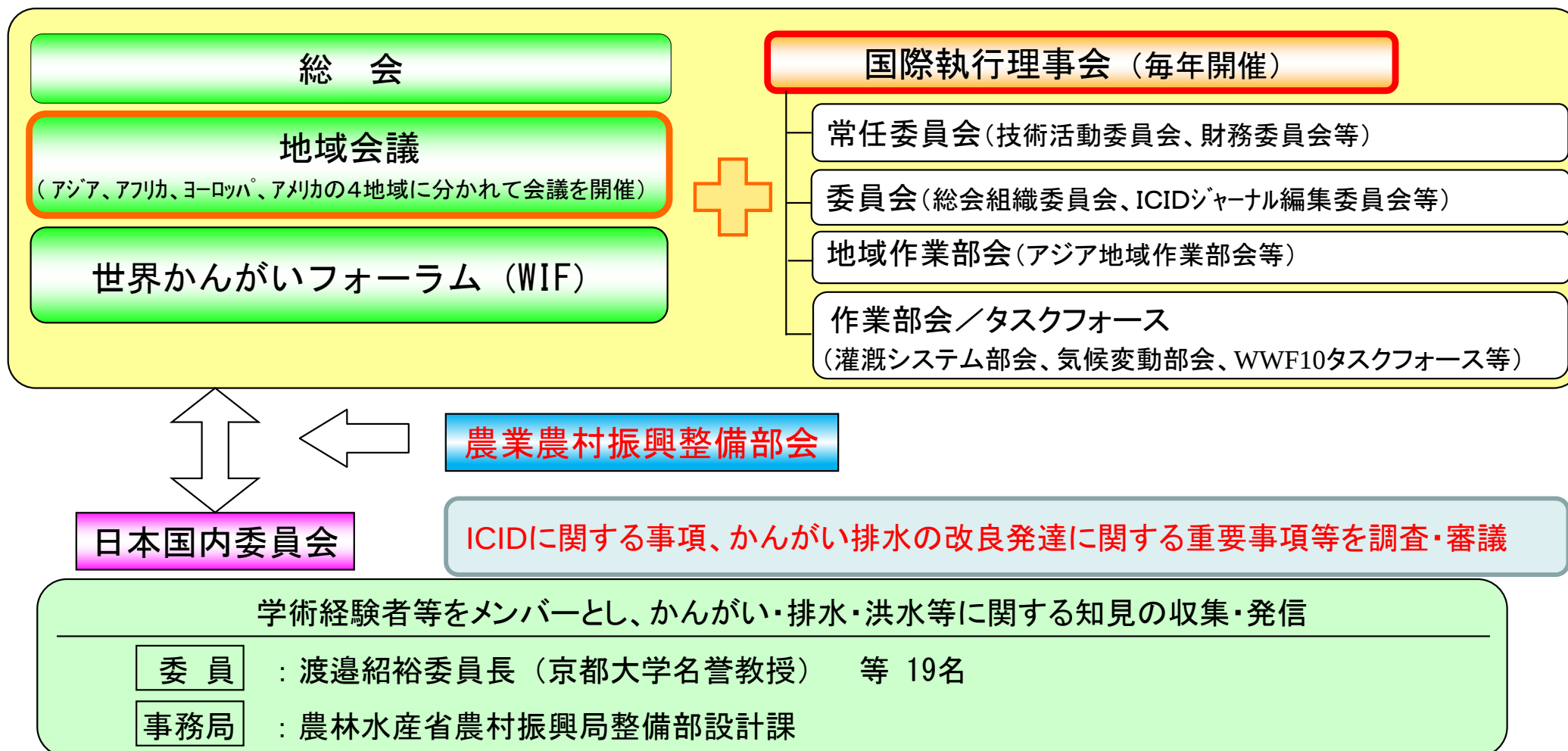
令和6年9月5日 大崎タイムス



7. 今後の国際執行理事会開催予定

- 今後の主要な国際会議の開催予定を次のとおり決定した。
 - ・ 第76回国際執行理事会及び第4回世界かんがいフォーラム 2025年9月(マレーシア・クアラルンプール)
 - ・ 第77回国際執行理事会及び第26回総会 2026年10月(フランス・マルセイユ)
 - ・ 第78回国際執行理事会及び第5回世界かんがいフォーラム 2027年(中国・北京)

- 国際かんがい排水委員会(ICID)は、かんがい排水に係る科学的、技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関(本部:インド(ニューデリー))。
- 毎年、国際執行理事会が開催され、各国国内委員会委員が常任委員会や各種作業部会等に参加し、ICIDの政策・運営等に関する議論、技術・情報の交換等を行う。
- 通常は、国際執行理事会と合わせて、3年に一度、総会、地域会議、世界かんがいフォーラムをローテーションで開催。今年はアジア地域会議と国際執行理事会を同時開催。





ICID・CIID

ICID国際執行理事会 (IEC)

PCSO (組織委員会)

PCTA (技術委員会)

PFC (財務委員会)

MB (運営委員会)

CO (本部)

ASRWG

アジア地域部会

AFRWG

アフリカ地域部会

ERWG

ヨーロッパ地域部会

AMRWG

アメリカ地域部会

ICID-YPF

若手灌漑技術者フォーラム

C-EVENT

イベント組織委員会

AC-IRPID

かんがい排水国際研究プログラム

Irrigation and Drainage

WG-IWM&D

かんがい用水の管理と
開発部会

WG-LDRG

農地排水部会

WG-NWREP

水資源と環境保護部会

Sustainable Development

WG-HIST

歴史部会

WG-I & OMVE

開発と管理VE部会

WG-CDTE

能力開発研修教育部会

Natural Resources

WG-SCER

海岸環境の持続的再生
部会

WG-IDSST

社会・経済変革期にお
ける灌漑排水部会

WG-WFE-N

水・食料・エネルギーネ
クス部会

WG-WHMWS

水不足を管理するための取
水部会

Others

EB-JOUR

ジャーナル編集委員会

TF-WEWM

水管理における女性活躍
タスクフォース

TF-WWF10

WWF10タスクフォース

TF-MTD

多言語技術辞書タスクフォース

Climate Change and Impacts

WG-CLIMATE

気候変動部会

: ICID日本国内委員が所属する部会等

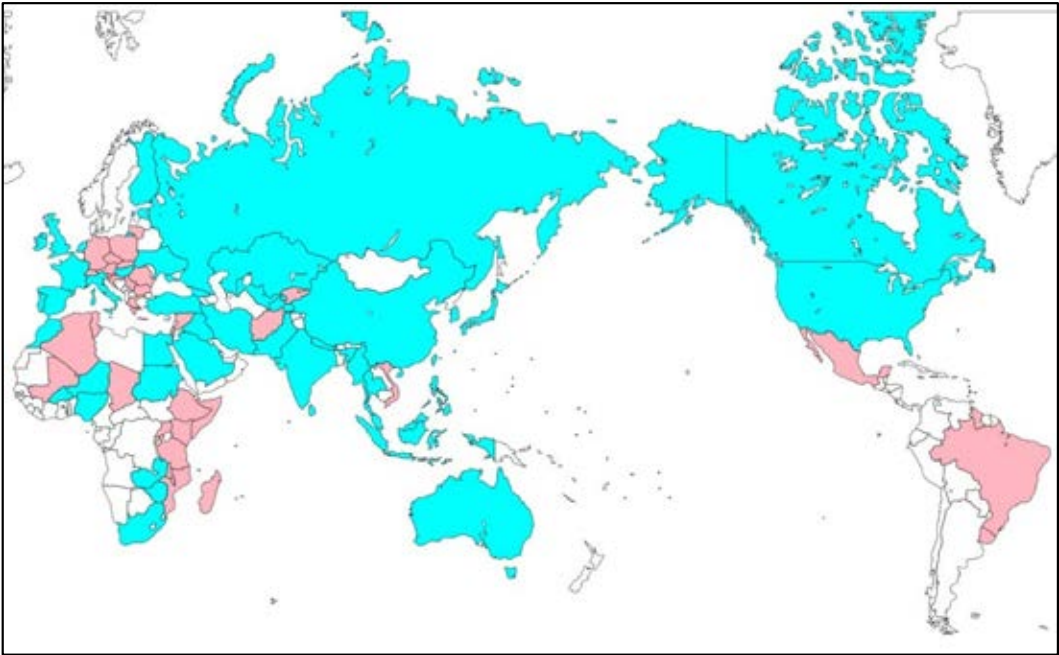
○ 日本は ICID日本国内委員会を設置し、1951年にICIDに加盟。日本国内委員会の委員による作業部会等での活動を通じ、我が国と世界のかんがい排水技術の情報を収集・発信し、世界の食料安全保障の確保等に貢献。

【ICID日本国内委員会委員】

委員名 (下線: 参加委員)	所 属	役 職
奥田 透 【副委員長】	全国農村振興技術連盟	委員長
加藤 亮	東京農工大学大学院連合農学研究院	教授
木村 匡臣	近畿大学農学部環境管理学科	准教授
久野 叔彦	(株)三祐コンサルタンツ	顧問
越山 直子	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 水利基盤チーム	主任研究員
雑賀 幸哉	サンスイコンサルタント(株)	取締役
清水 克之	鳥取大学農学部生命環境農学科	教授
杉浦 未希子	上智大学グローバル教育センター	教授
辻本 久美子	岡山大学大学院環境生命科学研究科	准教授
長野 宇規	神戸大学大学院農学研究科	准教授
乃田 啓吾	東京大学大学院農学生命科学研究科	准教授
福田 信二	東京農工大学大学院農学研究院	教授
松野 裕	近畿大学農学部環境管理学科	教授
皆川 裕樹	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域	上級研究員
宮津 進	新潟大学農学部	准教授
向井 章恵	国立研究開発法人 農業・食品産業総合研究機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域	グループ長 補佐
森 卓	NTCインターナショナル株式会社	代表取締役 社長
吉川 夏樹	新潟大学農学部	教授
渡邊 紹裕 【委員長】	京都大学	名誉教授

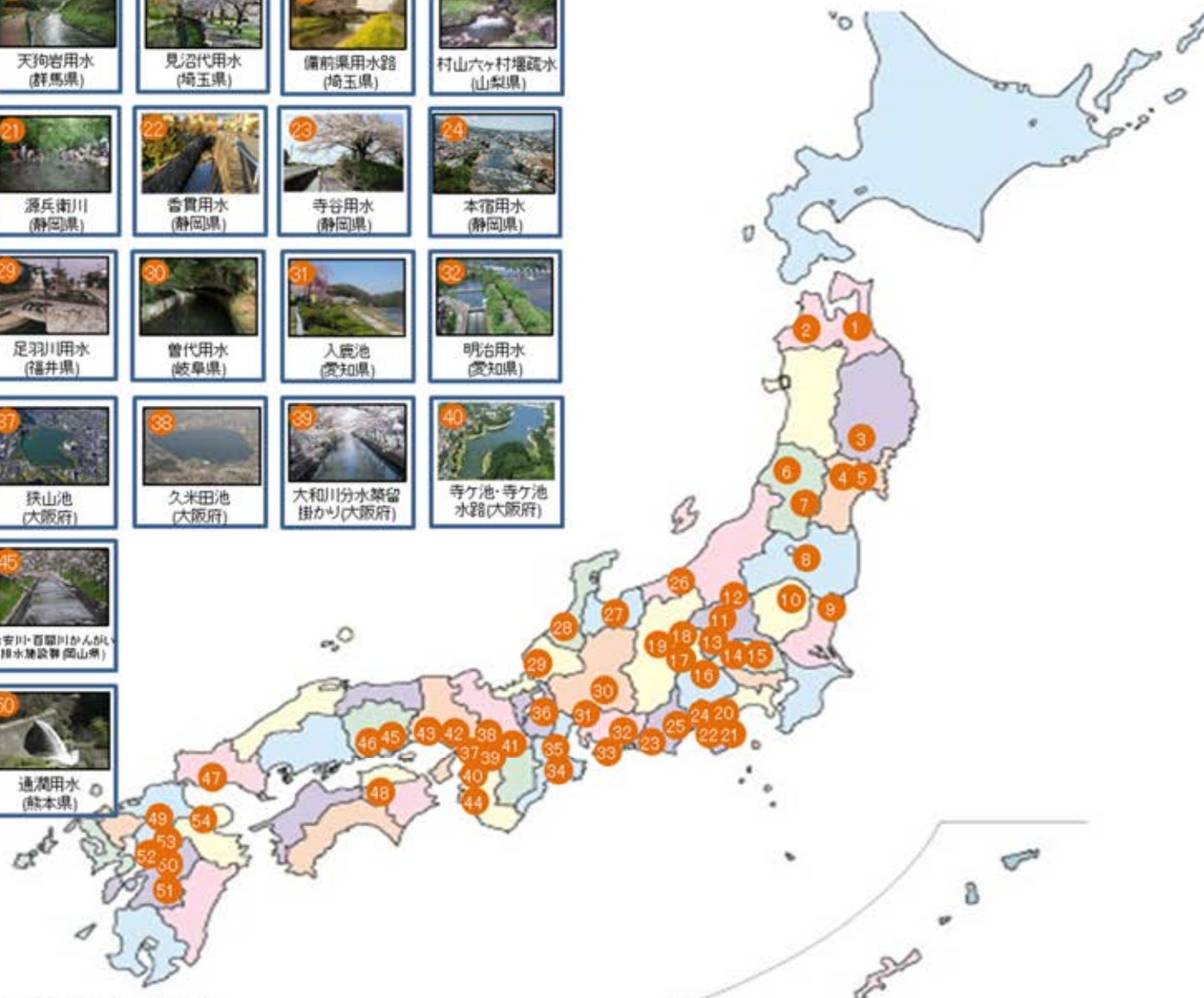
【ICID加盟国・地域の分布】

2024年1月現在



加盟国 47ヶ国・地域 準加盟国 35ヶ国

地域	加盟国	準加盟国	合計
アフリカ	9	12	21
アメリカ	3	4	7
アジア・オセアニア	22	6	28
ヨーロッパ	13	13	26
合計	47	35	82



注) 本資料に掲載した地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではありません。